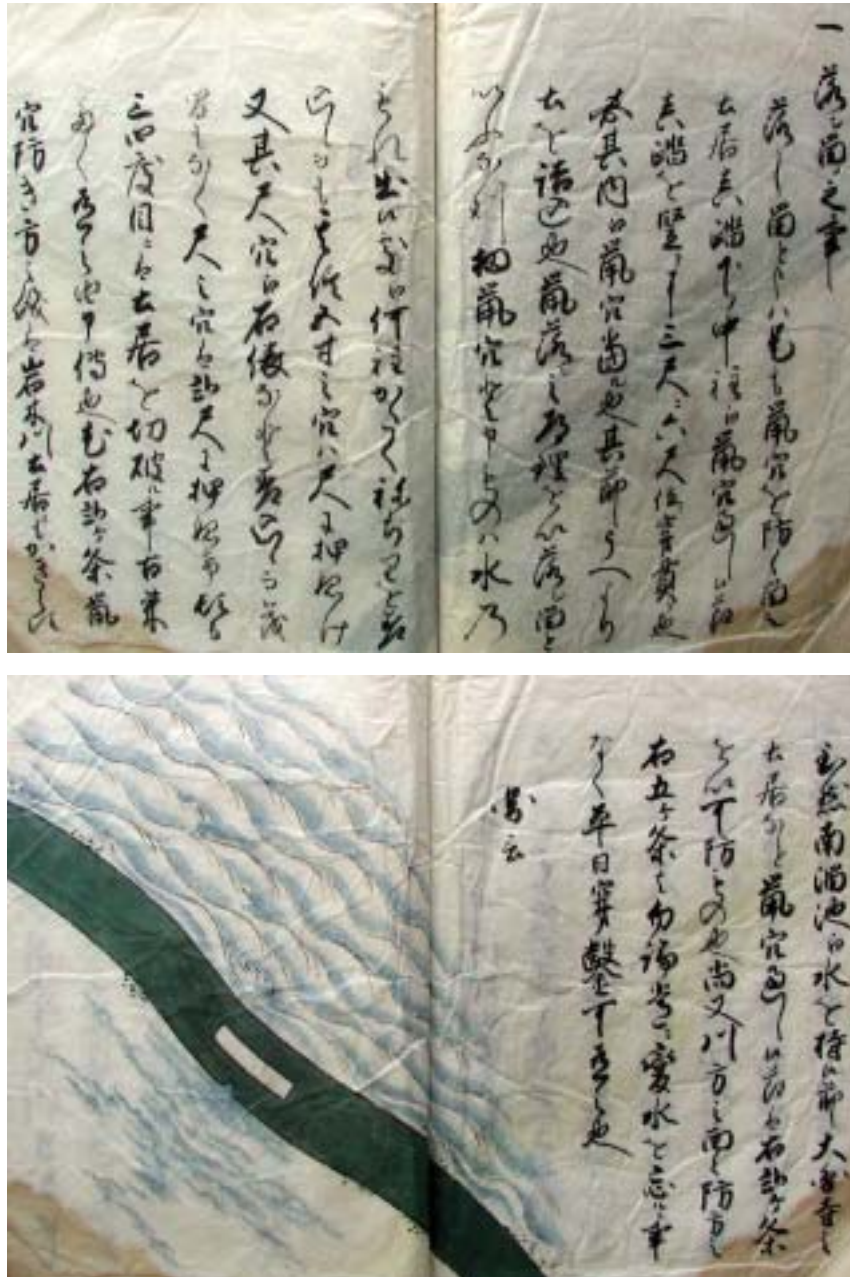


13 . 落とし留^{おと}^{とめ}



図中文章(現代語要約)

洪水防止(水防工法)の五ヶ条の一つ。

「落とし留」は、これも「鼠穴(水が漏れる穴)」を防ぐ工法である。

土居の真踏(天端)から堤防ののち程の高さへ鼠穴が空いたときは、真踏から縦方向に0.9m～1.8m程度の穴を掘り、必ず鼠穴に当たるようにする。その後、上から土を詰め込む。

鼠落しの道理にちなんで落とし留めというのである。

鼠穴というのは、水の漏れる所へ土などをいれても、穴は倍に広がるものであり、最後には堤防決壊につながるといった言い伝えがある。

もっとも、鼠穴の防ぎ方については、岩木川の堤防に限らず、溜池に水を貯めた時や大円寺の堤防などに鼠穴が空いた時には、「廻し留」、「落とし留」を用いて防ぐとよい。

なお、川表の防護の仕方については、前述の水防工法はもちろん、常に水の変化を見ることを忘れることなく、普段から十分に注意しておくことである。